

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 2 日(2025.4.2)

【公開番号】特開 2024-155980(P2024-155980A)
【公開日】令和 6 年 10 月 31 日(2024.10.31)
【年通号数】公開公報(特許)2024-204
【出願番号】特願 2024-144464(P2024-144464)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/447(2006.01)

10

B 4 1 J 2/45(2006.01)

G 0 3 G 15/04(2006.01)

H 0 4 N 1/036(2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/447 1 0 1 D

B 4 1 J 2/45

G 0 3 G 15/04

H 0 4 N 1/036

【手続補正書】

20

【提出日】令和 7 年 3 月 25 日(2025.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感光体を露光する露光装置であって、
長尺状の基板と、

30

前記基板に実装され、前記基板の長手方向に沿って配列された複数の発光素子と、前記複数の発光素子を駆動する駆動部と、前記複数の発光素子の点灯を制御する画像データを受信する受信部と、を有する発光チップと、
を備え、

前記受信部は、前記画像データをシリアルデータとして受信し、シリアルデータとして受信した前記画像データをパラレルデータに変換して出力する、
ことを特徴とする露光装置。

【請求項 2】

前記発光チップは、前記画像データに基づいて前記複数の発光素子を駆動するための駆動信号を出力する出力部をさらに備え、

40

前記駆動部は、前記駆動信号に基づいて前記複数の発光素子を駆動し、
前記出力部は、前記画像データをラッチし前記駆動信号を出力するためのラッチ回路を備える、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の露光装置。

【請求項 3】

前記出力部は、前記受信部が出力する、パラレルデータである前記画像データに基づいて前記駆動信号を出力する、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の露光装置。

【請求項 4】

前記露光装置は、周期的に同期信号を受信し、

50

前記受信部は、前記同期信号の期間内でシリアルデータである前記画像データを受信する
ことを特徴とする請求項 2 に記載の露光装置。

【請求項 5】

前記同期信号は、前記感光体の回転軸線方向における 1 ラインの露光タイミングを示す信
号である、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の露光装置。

【請求項 6】

前記出力部は、前記駆動信号を前記同期信号の周期と同じ期間だけ出力する、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の露光装置。

10

【請求項 7】

前記複数の発光素子は、有機 E L の発光膜を含む、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の露光装置。

【請求項 8】

感光体と、

前記感光体を露光する請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の露光装置と、

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本開示の一態様によると、感光体を露光する露光装置は、長尺状の基板と、前記基板に
実装され、前記基板の長手方向に沿って配列された複数の発光素子と、前記複数の発光素
子を駆動する駆動部と、前記複数の発光素子の点灯を制御する画像データを受信する受信
部と、を有する発光チップと、を備え、前記受信部は、前記画像データをシリアルデータ
として受信し、シリアルデータとして受信した前記画像データをパラレルデータに変換し
て出力する、ことを特徴とする露光装置。

30

40

50